

第三者研究会での意見の概要及び意見に対する対応状況

<p>1. 第三者研究会の名称</p> <p style="margin-left: 20px;">名称：「空間経済分析に関するワーキングショップ」(平成14年4月11日、平成15年6月2日開催)</p> <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">亀山 嘉大</td> <td>東京都立大学大学院都市科学研究科</td> </tr> <tr> <td>近藤 広紀</td> <td>信州大学経済学部専任講師</td> </tr> <tr> <td>中里 透</td> <td>上智大学経済学部助教授</td> </tr> <tr> <td>中東 雅樹</td> <td>財務省財務総合政策研究所研究員</td> </tr> <tr> <td>野田 英雄</td> <td>旭川大学経済学部専任講師</td> </tr> </table>		亀山 嘉大	東京都立大学大学院都市科学研究科	近藤 広紀	信州大学経済学部専任講師	中里 透	上智大学経済学部助教授	中東 雅樹	財務省財務総合政策研究所研究員	野田 英雄	旭川大学経済学部専任講師
亀山 嘉大	東京都立大学大学院都市科学研究科										
近藤 広紀	信州大学経済学部専任講師										
中里 透	上智大学経済学部助教授										
中東 雅樹	財務省財務総合政策研究所研究員										
野田 英雄	旭川大学経済学部専任講師										
<p>2. 第三者研究会での意見の概要及び対応</p>											
<p>意見の概要</p>	<p>意見に対する対応状況</p>										
<p>生産関数アプローチに用いられている民間資本のデータは、民営化の影響を除くために国鉄/JR や電電公社/NTT 部分が含まれておらず、90年代のGDPの説明要因として影響があるかもしれない。</p> <p>GDPは線形で伸びるとは限らず、一定の閾値を超えると成長が起こる可能性がある。</p> <p>産業の地域特化に関しては、交通集約型産業の集積や直接投資との関係も注目に値する。</p>	<p>今後の調査研究において留意することとする。</p> <p>空間構造と経済成長に関する理論研究についても引き続きフォローする必要がある。</p> <p>今後の調査研究に活かすこととする。</p>										

第三者研究会での意見の概要及び意見に対する対応状況